

|             |                    |
|-------------|--------------------|
| 学域名         | 人間社会学域             |
| 学類名         | 人文学類               |
| コース名(専門分野名) | 歴史文化学コース(日本史学専門分野) |

|  |  |
|--|--|
| <b>学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)</b><br>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。<br>1. テキストを正確に読解することができる。<br>2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。<br>3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。<br>4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。<br>5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。<br>6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 | <b>コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)</b><br>歴史文化学コースでは、人間の歴史・文化・思想・言語、思考・行動・創造について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする歴史文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような歴史文化学コースの学習成果を上げた者とする。 |
|--|--|

|  |  |   |  |  |   |  |
|--|--|---|--|--|---|--|
| <b>学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)</b><br>【学類のCP】<br>人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。<br>【コースのCP】<br>1年次には、歴史学・考古学分野全般を概観する概念的な科目を学ぶと共に隣接諸科学の知見を広める。2年次には、歴史学・考古学研究の各専門分野の基本的思考法や研究方法を学ぶ講義科目や文献読誦を中心とした科目を履修し、最新の研究状況の把握に努める。3年次には、研究対象に対して広範かつ高度な分析を行う手法を学び、さらに、自分の関心に基づいて独自の研究を行う準備を整えるための各専門分野の科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめるのが最終的な課題である。これに加え、各年次でそれぞれの専門分野に必要なスキルを習得するために用意された講義や演習を履修する。 | <b>コースの学習成果</b> (◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)<br>過去の人類の営みをたどることで、現代社会が直面する多くの問題の本質を理解し、将来を展望する能力を高めることができる。 | 設定した課題に対して、多様な手段を駆使して情報を収集し、必要な知見を精査、抽出できる。 | 史料を正確に読解し、論点を整理、要約して、口頭や文書などで報告することができる。 | 多くの文献にあり、多様な学説を相互に検証しつつ考察を重ねることで、独自の論考にまとめることができる。 | 時間、空間の異なる世界を考察の対象とし、多様な価値観や思考法に接することで、それらに共感し、理解する能力を高めることができる。 | 歴史的事象との対話を繰り返すことで、深い洞察力と幅広いバースベクトルを養うことができる。 |
|--|--|---|--|--|---|--|

| 専門分野のカリキュラム |                |  |     |    |    |     |
|-------------|----------------|--|-----|----|----|-----|
| 科目番号        | 授業科目           | 学生の学習目標  | 学年  | 前期 | 後期 |     |
| 11015       | 日本古代中世史概説A     | 古代の史書について理解を深め、それ自体が歴史的所産であることを認識する。                             | 1.2 |    |    | ◎   |
| 11018       | 日本古代中世史概説B     | 顕密仏教の特質を理解し、それが中世後期において変化してゆく実態に迫る。                              | 1.2 |    |    | ◎   |
| 11017       | 日本近世近代史概説A     | ・日本近世社会に関する基礎知識を学ぶ<br>・近世研究の理論を学ぶ<br>・歴史認識を鍛える                   | 1.2 |    |    | ◎   |
| 11018       | 日本近世近代史概説B     | 金沢の近現代史に関する理解を深める  | 1.2 |    |    | ◎   |
| 41501       | 日本古代史特殊講義      | 古代の官職制度の変遷と、その歴史的背景について理解を深める。                                   | 2.3 |    |    | ◎   |
| 41502       | 平安時代史特殊講義      | 皇位継承儀礼の変化と、その歴史的背景について理解を深める。                                    | 2.3 |    |    | ◎   |
| 41503       | 日本中世地域史特殊講義    | 守護大名大内氏に関し、幕府や朝鮮・明との関係を理解する                                      | 2.3 |    |    | ◎   |
| 41504       | 日本中世寺院史特殊講義    | 中世における宗教と社会の関係及び聖地の役割を理解する                                       | 2.3 |    |    | ◎   |
| 41505       | 日本近世社会経済史特殊講義  | ・日本近世の経済史に関する理解を深める<br>・近世経済史の研究の仕方学ぶ                            | 2.3 |    |    | ◎   |
| 41506       | 日本近世ジェンダー史特殊講義 | ・日本近世ジェンダー史に関する理解を深める<br>・近世ジェンダー史の研究の仕方学ぶ                       | 2.3 |    |    | ◎   |
| 41507       | 日本近代都市史特殊講義    | ・日本の近代都市史に関する理解を深めること<br>・史料の読解能力を身につけること                        | 2.3 |    |    | ◎   |
| 41508       | 日本現代都市史特殊講義    | ・日本の現代都市史に関する理解を深めること。<br>・史料の読解能力を身につけること。                      | 2.3 |    |    | ◎   |
| 41509       | 日本古代中世史特殊講義A   | 古代・中世の国家と社会について理解する  | 2.3 |    |    | ◎   |
| 41510       | 日本古代中世史特殊講義B   | 古代・中世の文化について理解する   | 2.3 |    |    | ◎   |
| 41511       | 日本近世近代史特殊講義A   | 近世・近代の国家と社会について理解する  | 2.3 |    |    | ◎   |
| 41512       | 日本近世近代史特殊講義B   | 近世・近代の文化について理解する   | 2.3 |    |    | ◎   |
| 41513       | 日本古代政治史演習A     | 古代の政治史に関する史料(六国史中心)を解読する。  | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41514       | 日本古代政治史演習B     | 古代の政治史に関する史料(古記録中心)を解読する。  | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41515       | 日本古代制度史演習A     | 古代の制度史に関する史料(六国史中心)を解読する。  | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41516       | 日本古代制度史演習B     | 古代の制度史に関する史料(古記録中心)を解読する。  | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41517       | 平安時代政治史演習A     | 平安時代の政治史に関する史料(六国史中心)を解読する。                                      | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41518       | 平安時代政治史演習B     | 平安時代の政治史に関する史料(古記録中心)を解読する。                                      | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41519       | 日本中世地域史演習A     | 中世的共同体と寺社の関係を示す史料を解読する   | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41520       | 日本中世地域史演習B     | 中世村落と寺社の関係を示す史料を解読する   | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41521       | 日本中世寺院史演習A     | 中世前期の社会と寺社の関係史料を解読する   | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41522       | 日本中世寺院史演習B     | 中世後期の社会と寺社の関係史料を解読する   | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41523       | 室町戦国時代史演習A     | 守護大名大内氏及びその領国内村落の史料を解読する   | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41524       | 室町戦国時代史演習B     | 戦国期窓村の史料を解読する  | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41525       | 日本近世前期演習A      | ・日本近世前期に関する研究史を学ぶ<br>・近世前期社会におけるテーマに関して研究する能力を養う<br>・発表、発言の能力を養う | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41526       | 日本近世前期演習B      | ・日本近世前期に関する研究史を学ぶ<br>・近世前期社会におけるテーマに関して研究する能力を養う<br>・発表、発言の能力を養う | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41527       | 日本近世中期演習A      | ・日本近世中期に関する研究史を学ぶ<br>・近世中期社会におけるテーマに関して研究する能力を養う<br>・発表、発言の能力を養う | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41528       | 日本近世中期演習B      | ・日本近世中期に関する研究史を学ぶ<br>・近世中期社会におけるテーマに関して研究する能力を養う<br>・発表、発言の能力を養う | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41529       | 日本近世後期演習A      | ・日本近世後期に関する研究史を学ぶ<br>・近世後期社会におけるテーマに関して研究する能力を養う<br>・発表、発言の能力を養う | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |
| 41530       | 日本近世後期演習B      | ・日本近世後期に関する研究史を学ぶ<br>・近世後期社会におけるテーマに関して研究する能力を養う<br>・発表、発言の能力を養う | 2.3 |    |    | ◎ ◎ |

|             |                    |
|-------------|--------------------|
| 学域名         | 人間社会学域             |
| 学類名         | 人文学類               |
| コース名(専門分野名) | 歴史文化学コース(日本史学専門分野) |

| 学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)  |           | コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)   |     |    |    |  |   |   |   |   |   |
|--|-----------|--|-----|----|----|--|---|---|---|---|---|
| <p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストを正確に読解することができる。</li> <li>2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。</li> <li>3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</li> <li>4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。</li> <li>5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。</li> <li>6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。</li> </ol> |           | <p>歴史文化学コースでは、人間の歴史・文化・思想・言語、思考・行動・創造について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする歴史文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような歴史文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>   |     |    |    |  |   |   |   |   |   |
| <p>学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)</p> <p>【学類のCP】<br/>人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】<br/>1年次には、歴史学・考古学分野全般を概観する概念的な科目を学ぶと共に隣接諸科学の知見を広げる。2年次には、歴史学・考古学研究の各専門分野の基本的思考法や研究方法を学ぶ講義科目や文献講読を中心とした科目を履修し、最新の研究状況の把握に努める。3年次には、研究対象に対して広範囲かつ高度な分析を行う手法を学び、さらに、自分の関心に基づいて独自の研究を行う準備を整えるための各専門分野の科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめるのが最終的な課題である。これに加え、各年次でそれぞれの専門分野に必要なスキルを習得するために用意された講義や演習を履修する。</p>                      |           | <p>コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)</p> <p>過去の人類の営みをたどることで、現代社会が直面する多くの問題の本質を理解し、将来を展望する能力を高めることができる。</p> <p>設定した課題に対して、多様な手段を駆使して情報を収集し、必要な知見を精査、抽出できる。</p> <p>史料を正確に読解し、論点を整理、要約して、口頭や文書などで報告することができる。</p> <p>多くの文献に当たり、多様な学説を相互に検証しつつ考察を重ねることで、独自の論考にまとめることができる。</p> <p>時間、空間の異なる世界を考察の対象とし、多様な価値観や思考法に接することで、それらに共感し、理解する能力を高めることができる。</p> <p>歴史的事象との対話を繰り返すことで、深い洞察力と幅広いバースベクトルを養うことができる。</p> |     |    |    |  |   |   |   |   |   |
| 専門分野のカリキュラム  |           |  |     |    |    |  |   |   |   |   |   |
| 科目番号   | 授業科目      | 学生の学習目標  | 学年  | 前期 | 後期 |  |   |   |   |   |   |
| 41531  | 日本近代史演習A  | 近代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める  | 2,3 |    |    |  |   | ◎ | ◎ |   |   |
| 41532  | 日本近代史演習B  | 近代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。聞き取り調査に取り組むこともある   | 2,3 |    |    |  |   | ◎ | ◎ |   |   |
| 41533  | 日本現代史演習A  | 現代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める  | 2,3 |    |    |  |   | ◎ | ◎ |   |   |
| 41534  | 日本現代史演習B  | 現代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。聞き取り調査に取り組むこともある   | 2,3 |    |    |  |   | ◎ | ◎ |   |   |
| 41535  | 日本近現代史演習A | 近現代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める   | 2,3 |    |    |  |   | ◎ | ◎ |   |   |
| 41536  | 日本近現代史演習B | 近現代日本の政治・社会に関する諸問題について、重要史料を講読することを通じて理解を深める。聞き取り調査に取り組むこともある  | 2,3 |    |    |  |   | ◎ | ◎ |   |   |
| 41537  | 日本史学実習A   | 古代・中世史の研究を進める上で不可欠な基礎的知識を体得する  | 2   | *  |    |  |   | ◎ |   |   |   |
| 41538  | 日本史学実習B   | 近世・近代史の研究を進める上で不可欠な基礎的知識を体得する  | 2   |    | *  |  |   | ◎ |   |   |   |
| 31001  | 卒業論文演習A   | ・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。<br>・専門分野における研究課題の設定、先行研究の調査・読解の適切な方法を身につける。<br>・学術論文の形式を理解する。   | 4   | *  |    |  |   | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 31002  | 卒業論文演習B   | ・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。<br>・専門分野において適切な研究計画を遂行するための技法、考え方を身につける。<br>・得られた情報を総合的に考察し、研究成果を的確に報告できるようになる。   | 4   |    | *  |  |   | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 31003  | 卒業論文      | ・学術論文の習作と位置づけられる論文を執筆することで、自らの研究成果を公表する技法を学ぶ。<br>・人文科学的学問において要求される論理性や科学性の質、水準を理解し、それを充たすために必要な論述の条件について知る。  | 4   |    | *  |  | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 11001  | 人文学序説1    | ・人文諸学の専門分野で学ぶ内容の概要を把握する。<br>・人文学類における学問の全体をイメージできるようになる。   | 1   | *  |    |  |   | ◎ |   |   | ◎ |
| 11002  | 人文学序説2A   | ・人文学類における学問の方法を学ぶ。<br>・ラボラトリ(実験)、テキスト(文献読解)、サーベイ(調査と分析)、フィールド(野外実習・調査)という方法の基礎的な知識を理解する。   | 1   |    | *  |  |   | ○ |   |   | ○ |
| 11003  | 人文学序説2B   | ・人文学類における学問の方法を学ぶ。<br>・人文学の基礎的素養としての歴史学について、歴史資料の捉え方、研究の課題、研究方法の基礎的な知識を理解する。   | 1   |    | *  |  |   | ◎ |   |   | ◎ |
| 11004  | 人文学序説2C   | ・人文学類における学問の方法を学ぶ。<br>・人文学の基礎的素養としての言語学・文学について、基本的な視座や研究方法についての基礎的な知識を理解する。  | 1   |    | *  |  |   | ○ |   |   | ○ |
| 11005  | 学類共通英語1   | ・人文学の諸学問を学んでいくための基礎的な英語力を身につける。<br>・英語で書かれた文献を読解し、専門分野における研究成果や考え方を英語で理解する力を身につける。   | 2   |    | *  |  |   |   |   |   | ◎ |
| 11006  | 学類共通英語2   | ・人文学の諸学問を学んでいくための基礎的な英語力を身につける。<br>・「学類共通英語1」より高いレベルで、英語で書かれた文献を読解し、専門分野における研究成果や考え方を英語で理解する力を身につける。   | 3   |    | *  |  |   |   |   |   | ◎ |